

(7) 令和4年度下期下水道事業の概況

ア 建設事業の状況

令和4年度は、既成市街地の汚水整備のうち、江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業については、古間木地区約0.4ヘクタール、向小金地区約4.1ヘクタール、おおたかの森西地区約2.0ヘクタール、手賀沼流域関連公共下水道整備事業については、青田地区約2.9ヘクタール、駒木地区約6.1ヘクタールの整備を行い水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。雨水管整備として、向小金雨水幹線約0.2キロメートルの整備を行い、浸水対策を図った。

更に、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る污水管整備として、運動公園周辺地区約3.6ヘクタールの整備を行い、水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。雨水管整備として、運動公園周辺地区約0.1ヘクタールの整備を行い、浸水対策を図った。

イ 業務の状況

当期の排水区域内人口は、195,222人で、前年同期に比べ5,612人の増加があった。

行政区域内人口と比較する普及率は、93.30パーセントで、前年同期に比べ1.00ポイントの増となった。